

マンガ家 鈴木光明展

展示紹介

すずき みつあき

鈴木光明は、1952年にマンガ家としてデビューしました。1955年『おもしろブック』3月号掲載の「くろがね力士」で雑誌デビューし、同号のふろくである長編時代劇を、多忙にあえぐ手塚治虫の依頼によって代筆しました。

当時はマンガ表現にストーリー重視の新しい波が来ていたころです。鈴木光明は、その波のひとつとなり10年ほど売れっ子として活躍したのち、後進育成にその生涯をささげました。本展示は、歴史ものや少女もの、ミステリを得意としたマンガ家・鈴木光明を、当館所蔵の原画および貴重資料とともに紹介します。

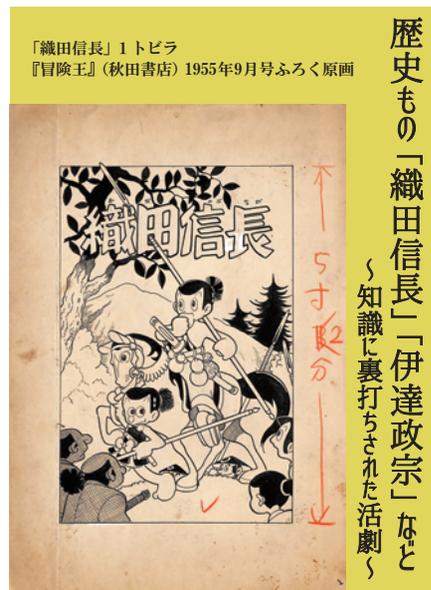
鈴木光明プロフィール



1936年2月8日横浜生まれ、2004年11月14日逝去。最初の描きおろし単行本は1953年の『江戸大変録』。様々な少年少女誌に作品を発表する売れっ子となる。代表作に「織田信長」「もも子探偵長」など。次第に後進のマンガ家を指導するようになる。門下から才能ある新人が多く輩出することで注目され、1971年『別冊マーガレット』の審査委員、その後『花とゆめ』『LaLa』でも審査委員となった。1976年より青山の花の館ビルにて少女漫画教室を主宰。亡くなる直前まで自宅で後進を指導した。著作に『鈴木光明の少女まんが入門(正・続)』『少女まんが家入門 特訓ドリル』『マンガの神様! 一追想の手塚治虫先生』など。2015年から16年にかけて、復刊ドットコムより『もも子探偵長』『スーパー・ミミ子』が続けて初単行本化された。

展示品

*2階閲覧室で、鈴木光明の書籍や関連資料を読むことができます。



貴重な雑誌の切り抜きやふろく、単行本等も展示

●その他 少年誌掲載のSFものなど



展示替え期間

前期：10月1日(金)～11月28日(日)
後期：12月3日(金)～2022年2月7日(月)

場所：明治大学 米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館 1階

〒101-8301 東京都千代田区神田猿樂町1-7-1 TEL：03-3296-4554

※感染症対策などにより公開状況を変更する場合がございます。

ご来館前に当館HP内展示ページをご確認ください。

https://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/exh-suzukimitsuaki.html →

